

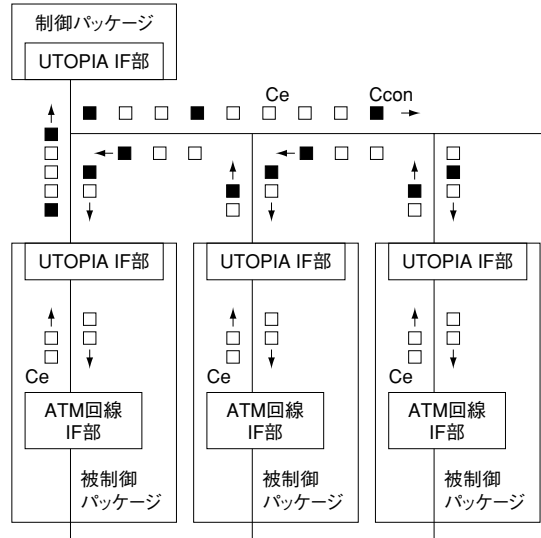
本発明は、非同期転送モード（ATM）インタフェースを有するATM通信装置内部の制御・被制御パッケージとそのパッケージ間通信方法に関するものである。

従来のATM通信装置は、UTOPIAバスのほかにパッケージを制御する通信コントローラや制御インタフェース、制御バスを設けているため、接続部品や配線が増大し、装置全体のコストアップ要因となっていた。

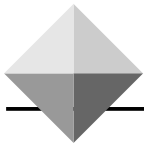
本発明のATM通信装置においては、制御パッケージは、ATMセルのヘッダ部のVPIフィールドまたはVCIフィールドに制御セル識別ビットと被制御パッケージアドレスを含み、被制御パッケージを制御するデータを有する制御セルをUTOPIAバスを介して被制御パッケージに送出する構成を有し、被制御パッケージは制御セル識別ビットを監視・判定し、かつ、被制御パッケージアドレスと一致すると制御セルのデータに従った制御をする構成を有する。

このように、制御パッケージから各被制御パッケージへ送出する制御データを、UTOPIAバスを利用して送出することによって、通信コントローラや制御インタ

フェース、制御バス等が不要となり、各パッケージ間の接続部品や配線が削減でき、ATM通信装置全体のコストを低減することができる。



本発明のATM通信装置の説明図



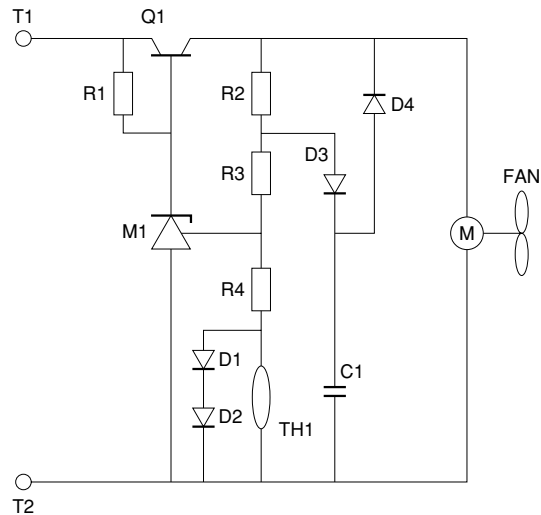
本発明は、各種電気機器に使用される強制空冷用等のファンの駆動制御回路に関するものである。

従来のファン駆動制御回路では、ファン騒音対策のため、サーミスタにより温度検出部位の温度を検出し、温度低下時にファン駆動用モータの印加電圧を低下して回転数を下げて低騒音状態としていたが、この印加電圧の低下によってファン駆動用モータが停止したり、起動できない問題が生じていた。

本発明のファン駆動制御回路は、温度検出部のサーミスタ（TH1）と並列にダイオード（D1,D2）または定電圧ダイオードを接続してサーミスタ（TH1）のインピーダンスが上昇してもファン駆動用モータ（M）の印加電圧が駆動電圧の最小値以下にならないようにして、モータ（M）の停止が起らないようにするものである。また、起動時には検出回路の分圧抵抗（R2~R4）と並列にコンデンサ（C1）を接続してファン駆動用モータ（M）の印加電圧を高くしてモータ（M）の起動を確実にするものである。

したがって、温度低下を検出してファン駆動用モータ

の印加電圧を低下させ、回転数が下がってもファンが停止することなく、また、低温時の起動においても、確実にファンを起動することができる。



本発明のファン駆動制御回路の一実施例